

小規模爆発事故について

1 事故対策と点検監視内容

主灰バイパスコンベヤの小規模爆発事故発生に伴い、別紙－１のとおり環境集じん器や通気口を設けて十分な換気を行えるようにした。監視内容は、１時間ごとに水素濃度と通風状態を確認している。また、１１月２９日から中央制御室での自動測定器を用いた常時監視を行っている。

2 水素ガス濃度の推移

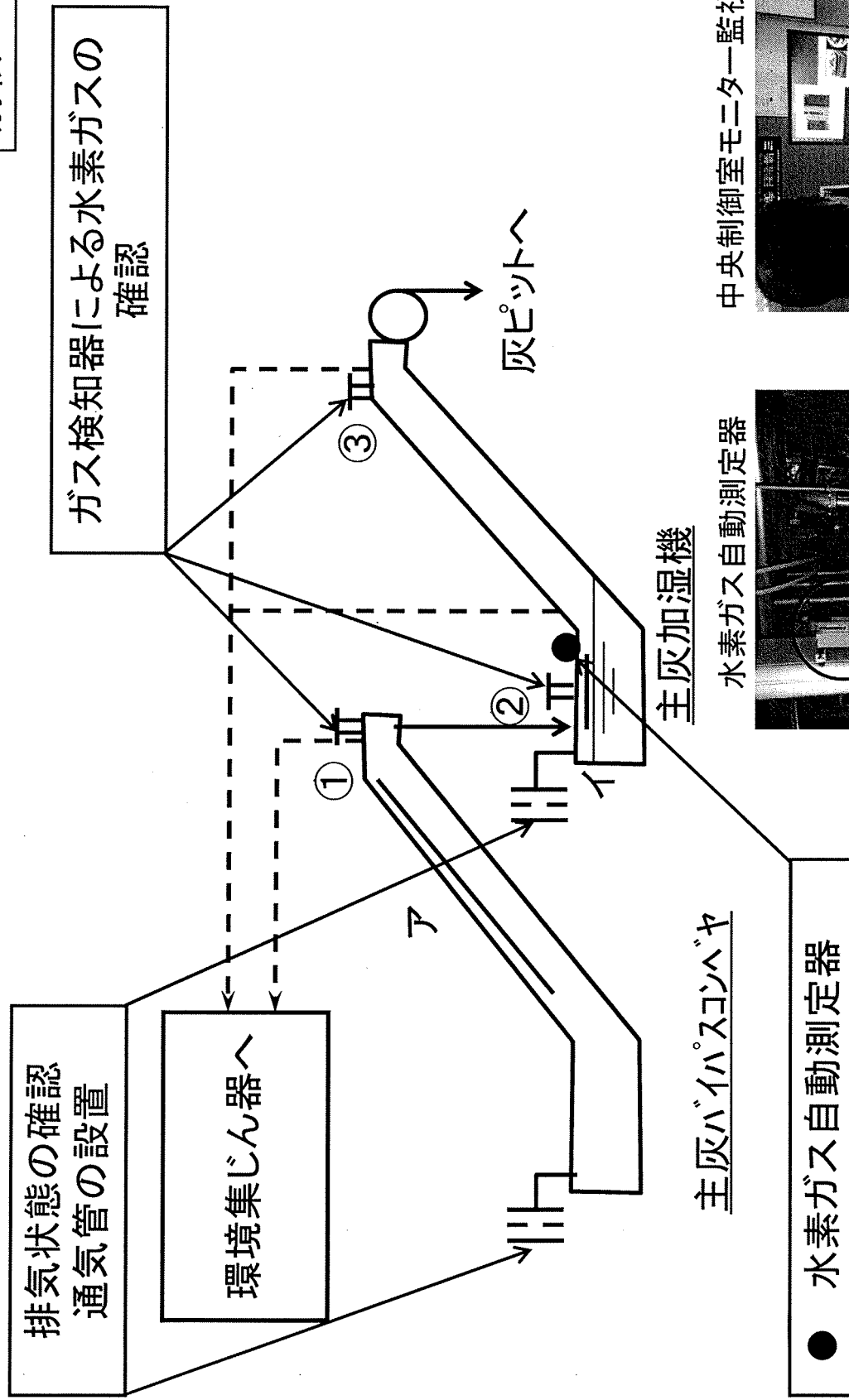
平成２５年１１月～１２月までの水素ガス濃度（管理値０．８％以下）は、０．２～０．４％、平成２６年１月～２月までは概ね０．２％以下で、現在も安定的に（０．２％以下）推移している。（別図－２）

3 総括

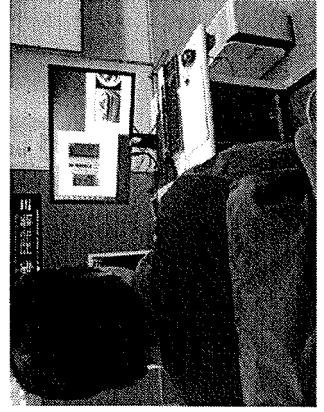
日常監視の経過から水素濃度は０．２％未満で安定しているため、現在の滞留防止策と監視を継続していく。

小規模爆発事故について 南部クリーンセンター 事故対策と点検内容

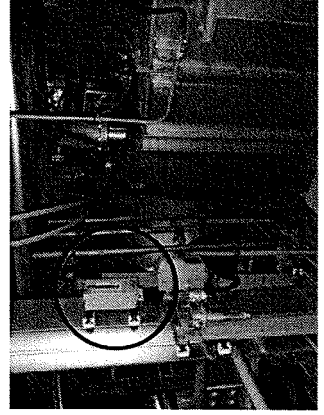
別紙ー1



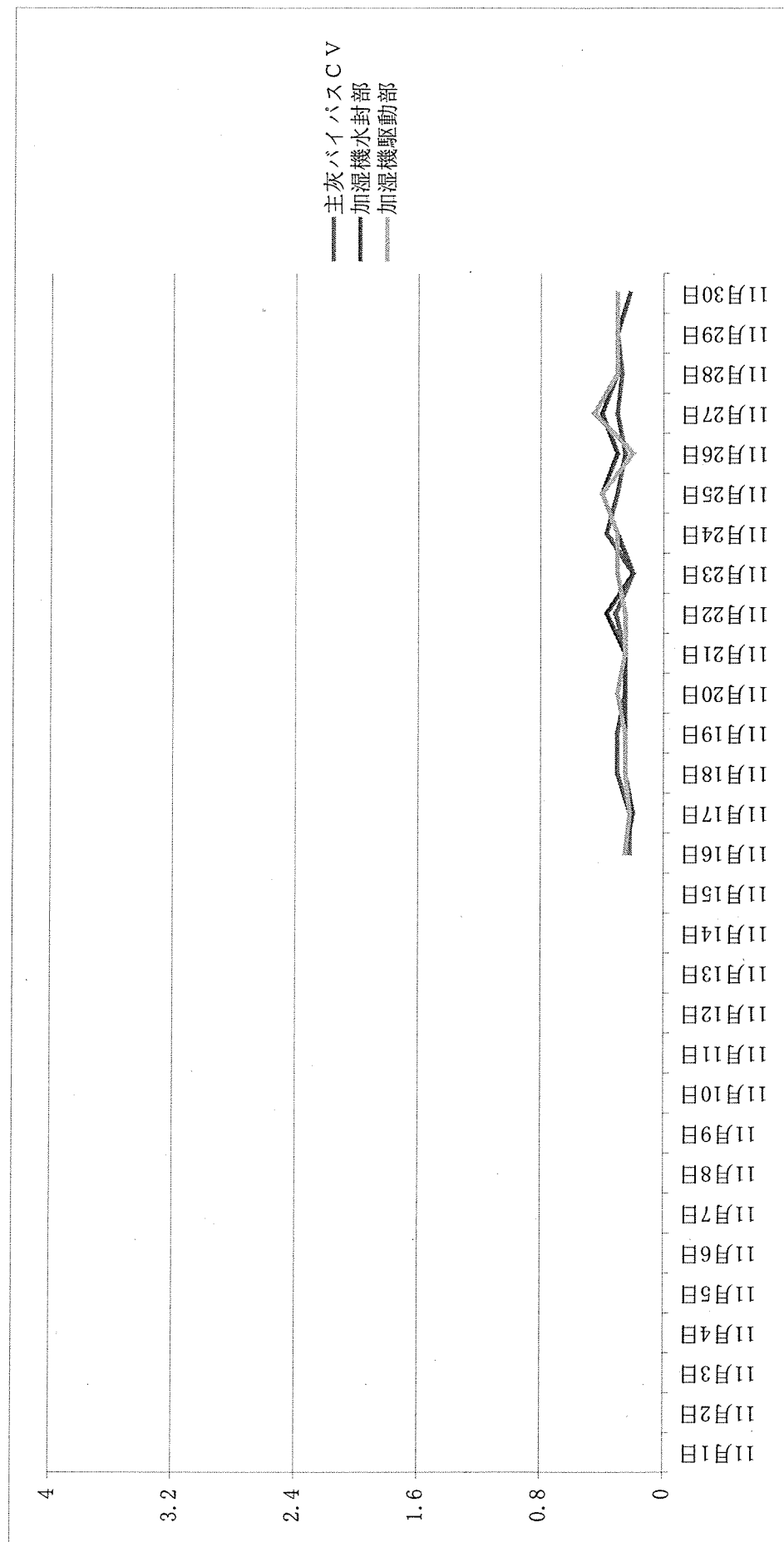
中央制御室モニター監視



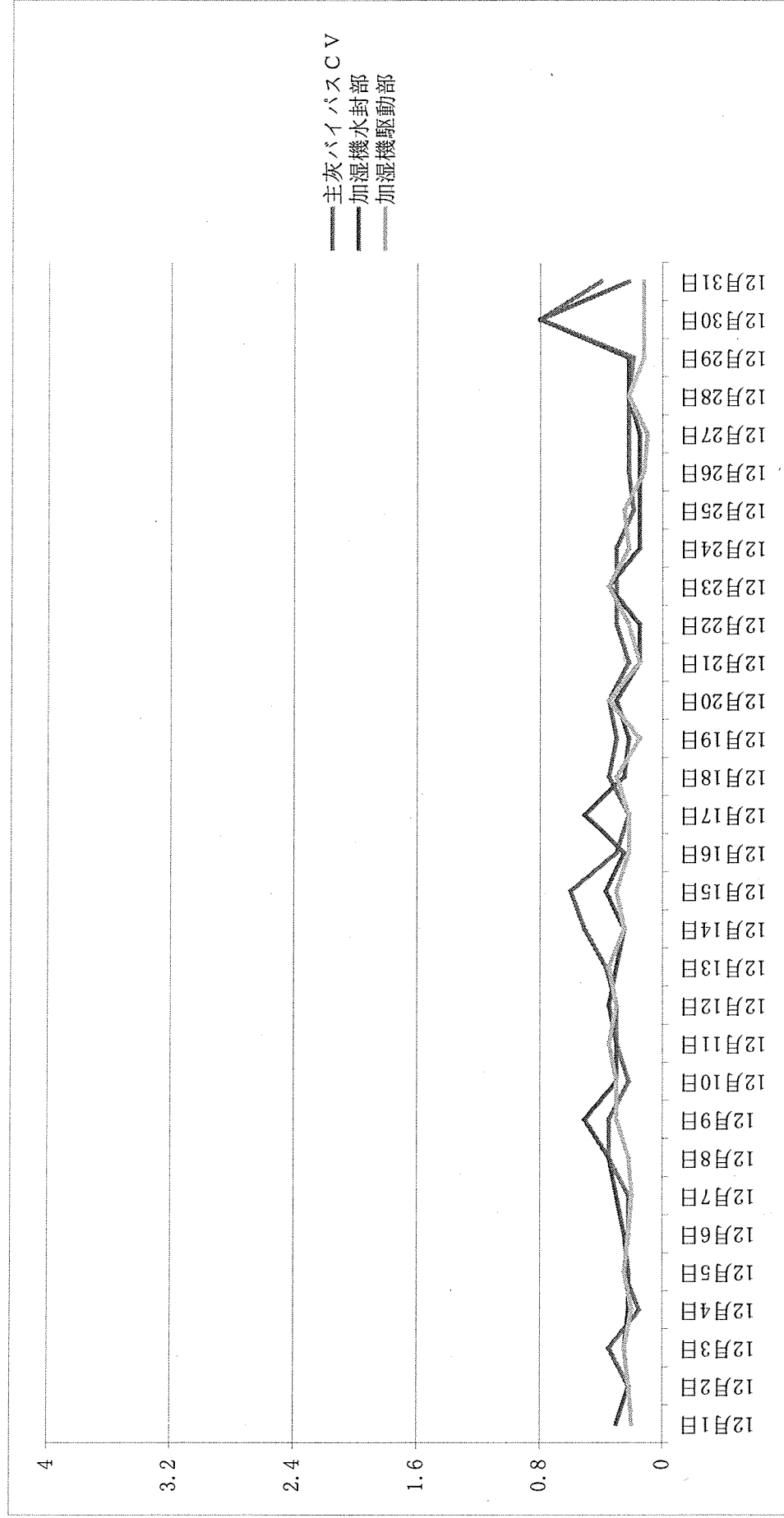
水素ガス自動測定器



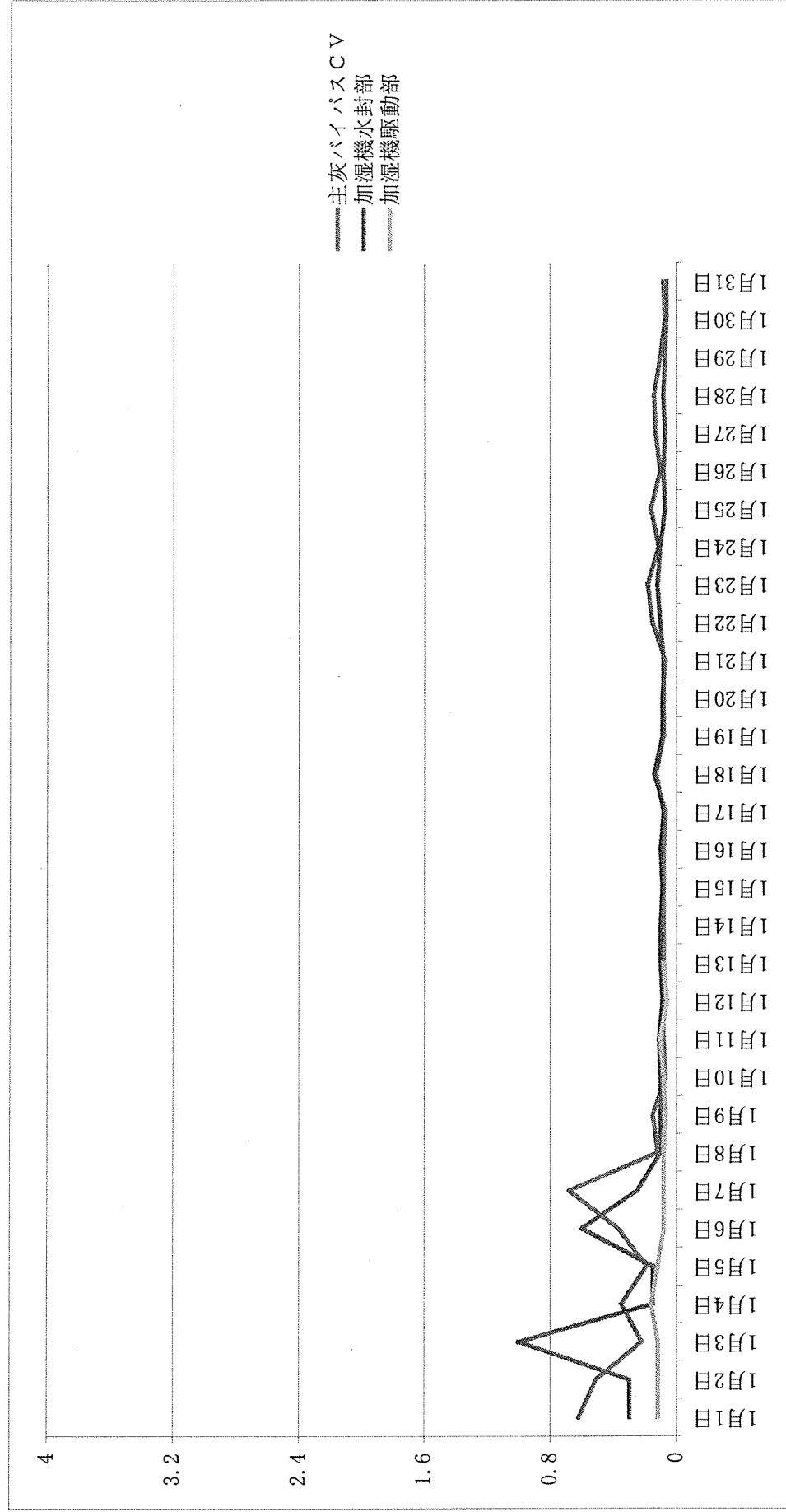
水素濃度測定結果(補正值)日別最大値表 平成25年11月



水素濃度測定結果(補正值) 日別最大値表 平成25年12月



水素濃度測定結果日別最大値表 平成26年1月



水素濃度測定結果日別最大値表 平成26年2月

